

FormPat 4

エクスポート定義ファイルガイド

Digital Assist Corporation

2014/02/28



Copyright(C) 2014 Digital Assist Corporation. All rights reserved.

目次

目次	2
はじめに	3
概要	4
エクスポート定義ファイルのヘッダ記述	4
エクスポート定義ファイルの CSV タイトル記述	4
エクスポート定義ファイルの CSV データ記述	4
定義サンプル	5
スーパーカクテルデュオ	5
商奉行	6
タイトル行付き CSV	6
エクスポート定義ファイルの作成手順	6

はじめに

本書では、FormPat 4（以下、FormPat）のエクスポート機能で利用できるエクスポート定義ファイルの設定方法を説明します。

エクスポート定義ファイルを利用することで、CSV データのフォーマットを柔軟に設計することができます。各種 ERP パッケージやオフィスソフトとの連携に効果的です。

本書は、FormPat Ver.4.0.0.0 以降を対象としています。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標です。

概要

エクスポート定義ファイルは、FormPat の CSV データ出力画面のパターンに反映されます。
このとき、FormPat のパターン登録とエクスポート定義ファイルは共存可能です。
また、エクスポート定義ファイルはフォームごとに作成可能です。

エクスポート定義ファイルのヘッダ記述

パターン名, **フォーム定義ファイル名.xml**, **予備1**, **予備2**, **区切り文字**, **文字コード**

パターン名 は CSV データ出力画面のパターンに表示する名称を設定します。

フォーム定義ファイル名.xml は FormPat Designer で作成したフォーム定義ファイル名(拡張子.xml)を設定します。

予備1 は現在未使用です。

予備2 は現在未使用です。

区切り文字 は CSV データの区切り文字を設定します。カンマなら 0 、タブなら 1 、スペースなら 2 を設定します。

文字コード は CSV データの文字列変換方式を設定します。UTF-8 方式なら 0 または省略、UTF-16 方式なら 1 を設定します。

エクスポート定義ファイルの CSV タイトル記述

CSV データのタイトル行を設定します。

省略するとタイトル行は出力されません。

[@TITLE] **項目名**, ...

[@TITLE]より右側に設定されている記述がそのまま CSV データのタイトル行として出力されます。

エクスポート定義ファイルの CSV データ記述

CSV データの 1 レコードに必要な項目をカンマ区切りで設定します。

また、1 フォームから複数行の CSV データを出力する場合は、ボティ定義も複数行設定します。

CSV 項目名=データ項目,...

CSV 項目名 は CSV データの項目名を設定します。この項目名は CSV データに物理的に出力される訳ではなくエクスポート定義ファイルの注釈として利用ください。

データ項目 は FormPat の項目名や固定値を設定します。

以下に **データ項目** の記述例を記載します。

CSV データ	FormPat 項目名称と関数の記述例
データを出力	FormPat 項目名称

日付を 8 桁(yyyymmdd)形式で出力	FormPat 項目名称{AT(Date)}
固定リテラル	“0”, “A”, “全角” 等
有効行の判断①	FormPat 項目名称{?(0)} 1 行に複数の{?(0)}が定義されている場合、定義されているすべての項目にデータが入っている場合に有効行と判断され CSV データが出力されます。
有効行の判断②	FormPat 項目名称{?(1)} ()内は 1～9 の定義が可能です。 1 行に複数の{?(1)}が定義されている場合、定義されているいずれかの項目にデータが入っている場合に有効行と判断され CSV データが出力されます。 ()内の数値はその数値でグループ化し有効行を判定します。
行カウンタ	{CT(0)} 0 以外の定義はできません。 フォーム単位に 1 から連番です。 無効行は欠番とならず常に連番になります。
文字連結	FormPat 項目名称+FormPat 項目名称 数値項目も文字列として連結されます。
関数の組み合わせ	日付=FormPat 項目名称{AT(Date)}{?(0)} 関数の組み合わせは を使用します。

定義サンプル

スーパーカクテルデュオ

■エクスポート定義ファイル■

スーパーカクテルデュオ-受注データ,受注フォーム.xml,予備 1,予備 2,0<改行>

ジョブモード="0",注文伝票番号=伝票番号,相手行番号=行番号 1,得意先コード=得意先コード, … ,明細区分コード="01",商品コード=商品コード 1{?(0)}, … <改行>

ジョブモード="0",注文伝票番号=伝票番号,相手行番号=行番号 2,得意先コード=得意先コード, … ,明細区分コード="01",商品コード=商品コード 2{?(0)}, … <改行>

ジョブモード="0",注文伝票番号=伝票番号,相手行番号=行番号 3,得意先コード=得意先コード, … ,明細区分コード="01",商品コード=商品コード 3{?(0)}, … <改行>

:

(注 1) 実際はジョブモードから<改行>までが 1 行です。

(注 2) … は途中項目の省略を表しています。

(注 3) <改行>は改行コードの意味です。

■CSV データ■

0,100,1,T001, ... ,01,S001, ... <改行>

0,100,2,T001, ... ,01,S002, ... <改行>

0,100,3,T001, ... ,01,S003, ... <改行>

商奉行

■エクスポート定義ファイル■

商奉行-受注データ,受注フォーム.xml,予備 1,予備 2,0<改行>

*,奉行伝票番号=伝票番号,奉行得意先コード=得意先コード, ... <改行>

0,奉行明細番号={CT(0)},奉行商品コード=商品コード 1{?(0)}, ... <改行>

0,奉行明細番号={CT(0)},奉行商品コード=商品コード 2{?(0)}, ... <改行>

2,奉行合計金額=合計金額, ... <改行>

■CSV データ■

*,100,T001, ... <改行>

0,1,S001, ... <改行>

0,2,S001, ... <改行>

2,10000, ... <改行>

タイトル行付き CSV

■エクスポート定義ファイル■

販売管理-受注データ,受注フォーム.xml,予備 1,予備 2,0<改行>

[@TITLE]売上伝票番号,伝票行番号,得意先コード, ... ,商品コード, ...

売上伝票番号=伝票番号,伝票行番号=行番号 1,得意先コード=得意先コード, ... ,商品コード=商品コード 1{?(0)}, ... <改行>

売上伝票番号=伝票番号,伝票行番号=行番号 2,得意先コード=得意先コード, ... ,商品コード=商品コード 2{?(0)}, ... <改行>

売上伝票番号=伝票番号,伝票行番号=行番号 3,得意先コード=得意先コード, ... ,商品コード=商品コード 3{?(0)}, ... <改行>

:

■CSV データ■

売上伝票番号,伝票行番号,得意先コード, ... ,商品コード, ...

100,1,T001, ... ,S001, ... <改行>

100,2,T001, ... ,S002, ... <改行>

100,3,T001, ... ,S003, ... <改行>

エクスポート定義ファイルの作成手順

1. [メモ帳]等のテキストエディタでエクスポート定義ファイルを作成します。
保存時のファイル名は任意ですが、拡張子を .cef とします。
2. エクスポート定義ファイルを FormPat のフォームフォルダにコピーします。

標準インストールでは、フォームフォルダのパスは C:¥FormPatData¥form¥ です。

正確なパスは、システム環境ファイル(control.xml)に設定されています。

3. FormPat の CSV データ出力画面の該当フォームのパターンにエクスポート定義ファイルが反映されます。